

野外博物館エリア



三笠ジオパーク
MIKASA GEO PARK

歩いて往復
60分

野外博物館とは？

1億年前と5000万年前の大地の記憶、そして人々の営みの記憶がひとまたぎで体感できる散策路で、地層、石炭、炭鉱など、三笠ジオパークにとって重要な要素を余すことなく楽しむことができます。
全長1.2kmの散策路です。15の見どころがあり、見どころの解説を載せた看板を設置しています。


A-01～A-15: 15の見どころ



散策上のご注意

自然や地質・産業遺産の保護と保全に努めています。
散策をする際には、以下のことをお守りください。

- 散策路以外の場所に立ち入らないこと。
- 野草や樹木を傷つけたり、岩石や地層をくずしたり、採取しないこと。
- たき火や炊事をしないこと。
- ごみは必ず持ち帰ること。
- 野生動物には注意すること。
- 昆虫や野生動物の捕獲をしないこと。

 終点(桂沢神居古潭付近)に仮設トイレを設置しています。



野外博物館を楽しむ散策マップ



三笠ジオパーク
MIKASA GEO PARK

三笠ジオパークとは？

アンモナイトが海を泳いでいた一億年前から、炭鉱まちとして栄えた現在まで、一億年時間旅行を気軽に楽しむことができる場所です。ここでは、世界的にも有名なアンモナイトをはじめとする一億年前の生命の痕跡、石炭という大地の遺産の恩恵を受けながら暮らしてきた、炭鉱まち特有の文化を感じることができます。

A-12 神泉隧道



A-11 イノセラムス



A-06 垂直な地層



大地の力で押し曲げられたダイナミックな地層を近くで見ることができます。

地層の向きが知っているものと違う？

A-03 旧幾春別炭鉱錦立坑櫓



この立坑櫓にある屋マークは、北海道の開拓に関係ある！

ここ幾春別地区には、昔炭鉱があり、当時使われていた立坑櫓を見ることができます。立坑櫓には、地下に人や石炭などを運ぶエレベーターの役割があります。

1億年時間旅行へレッツゴー！

A-15

A-14

A-13

A-12

A-11

A-10

A-09

A-08

A-03

A-15 桂沢神居古潭

A-08 ひとまたぎ 5千万年

A-07

A-06

A-05

A-04

A-02

A-01

錦橋

A-04 旧錦坑坑口



三笠市立博物館

季節によってきれいな景色を見ることができます。

秋の紅葉の時期が見ごろ♪

約1億年前にできた地層と約5000万年前にできた地層が隣り合っており、2つの地層の境界をまたぐと、一気に5000万年もの時間を飛び越えることができます。

地層の境目をひとまたぎして、5千万年分を時間旅行しよう

地表に出ている石炭を近くで見ることができます。

ここでは、地表に出ている石炭にさわれる！

季節の植物

野外博物館では、季節によって様々な植物を見ることができます。



エゾアジサイ

エンレイソウ

シラネアオイ

オニグルミ

ガイド案内受付中！

三笠ジオパークには、見どころを楽しくわかりやすく説明するガイド員がいます。野外博物館をガイド員の案内付きで見学して、野外博物館をより楽しむことができます。ガイド員による案内を受けたい方は、お気軽にお問い合わせください。
※ガイド料は有料。
※予約状況によっては対応できない場合がありますので、事前にお問い合わせください。

お問い合わせ先

三笠ジオパーク推進協議会事務局

住所 北海道三笠市幸町2番地
電話 01267-2-3997
(平日のみ、8:30～17:00)



ホームページ フェイスブック